

イワタ明朝体オールド

古き良き活字のフォルムを忠実に再現。
書籍に雑誌に、待望の本文組用書体が登場！

OpenType

CID

TrueType

● OpenTypeフォント

標準小売価格(税別)

Pro 1書体 18,000円 **15,444字収録** (AJ1-4)

Std 1書体 12,000円 **9,354字収録** (AJ1-3)

● CIDフォント(Macintosh用)

標準小売価格(税別)

2,200字の外字付き

ATM専用フォント	※新しい情報はイワタWebをご覧ください。	高解像度用 (1200dpi以上)
1書体 15,000円	1書体 39,000円	1書体 98,000円

※高、低解像度フォントにはPDFにエンベッド可能なATMフォントが同梱されています。(1ライセンスのみ)

● TrueTypeフォント(Windows用)

標準小売価格(税別)

2,200字の外字付き

1書体 9,000円

■企画・開発 販売元

株式会社 **イワタ**

101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-9 滝清ビル
TEL.03-5820-3169 FAX.03-5820-3174
http://www.iwatafont.co.jp
e-mail info@iwatafont.co.jp

詳しくはホームページまたは、弊社までお問い合わせください。

昔から多くの人に愛され、慣れ親しまれてきた活字の美しさと力強さが、今デジタル書体となってよみがえりました。
「イワタ明朝体オールド」は、活字時代から使われてきた「岩田明朝体」を元に、その字体とデザインを忠実に再現した書体です。かな文字の独特のラインをはじめ、漢字では起筆部を強調するなど、細部にもこだわって作成しました。

字形比較

イワタ中細明朝体

教校家分にもあう

イワタ明朝体オールド

教校家分にもあう

イワタ中細明朝体オールド

教校家分にもあう

文庫組版見本 (13Q)

このところ少しおさまったようだが、数年来、外来語批判が一つの流行のようになっていく。自分でもさかんに外来語をつかっていくような知識人が、どうも日本人には国語愛というものがなくて、どうです、新聞、雑誌、それにデパートのカタカナ日本語の氾濫ぶりは、などというようなことを言う。そういうことしか槍丸にあげるものがないというのなら、天下泰平の兆でめでたいことと言わなくてはならない。

しかし、外来語の評判が悪いのは、何も現代の特殊現象ではない。言語はたえず目まぐるしく変わっているようで、じつは、案外、保守的なところがある。自己の体系に属しないものが外から入ってくれば、まず、防御態勢をとる。反発を示す。この言語の保守性の法燈をうけ継いでいるものは老人だから、いつの時代でも、老人は「若いものことばの乱れ」に眉をひそめる。正しいことば、美しいことばが刻々と消え失せてゆくのは、耐えがたいことであるに違いない。ただ、それで世の終わりが近づいたように思うのは、すこしおおげさすぎる。ことばはむしろ、滅び廃れていくいまわのときの姿が、もっとも美しいと感じれるのかもしれない。

昔から、ずいぶんことばは変わってきたが、どの時代にも、正しいことばと、美しいことばはあったことを考えると、いまの若い世代がふみにじろうとしていることばの花が唯一絶対で、最後のものでないらしいことは想像がつこう。ふみにじられたものの下に、じつは、新しい花の生命がもう準備されている。ことばを大切にすることに賛成だが、言葉に感傷的であるのは感心できない。言葉のさきおう国という美称は、ことばにめそめ